

令和 3 年度
網走市における景気動向調査
＜第Ⅲ四半期＞

報 告 書

網 走 商 工 会 議 所

目 次

第 1 章 調査要領

1－1. 調査時点及び調査対象期間	1
1－2. 調査対象	1
1－3. 調査方法	1
1－4. 回収状況	1

第 2 章 概況

2－1. 全体の動き	2
2－2. 業種別の動き	3

第 3 章 各判断項目回答割合と天気図

3－1. 記号説明	4
3－2. 各業種の動向	4
3－3. 採算	7

第 4 章 産業別経営上の問題点

4－1. 回答実数	8
4－2. 回答割合	8

第 5 章 産業別設備投資の状況

第 6 章 業界の景気動向等その他のご意見

第1章 調査要領

1-1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点: 令和3年10月1日(金)～3年12月31日(金)

(2) 調査対象期間: 令和3年10月～12月期実施、及び令和4年1月～3月見通し

1-2. 調査対象

網走市に所在する建設業(30件)、製造業(24件)、卸売業(20件)、小売業(40件)、サービス業(44件)の158社を調査対象とした。

1-3. 調査方法

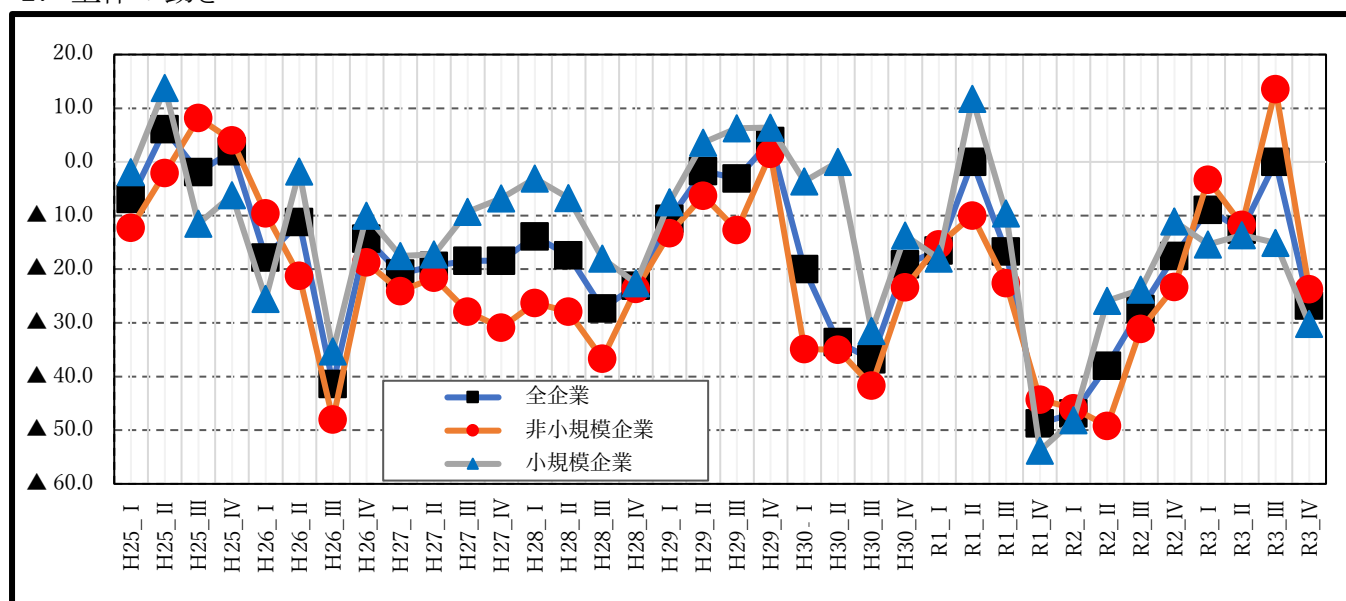
調査対象に調査票を送付し、FAX,もしくは返信用封筒による郵送で回答を受ける。

1-4. 回収状況

業 種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
建設業	30 件	25 件 (非小規模企業: 13 件) (小規模企業: 12 件)	83.3 %
製造業	24 件	17 件 (非小規模企業: 8 件) (小規模企業: 9 件)	70.8 %
卸売業	20 件	13 件 (非小規模企業: 8 件) (小規模企業: 5 件)	65.0 %
小売業	40 件	28 件 (非小規模企業: 13 件) (小規模企業: 15 件)	70.0 %
サービス業	44 件	29 件 (非小規模企業: 17 件) (小規模企業: 12 件)	65.9 %
合 計	158 件	112 件	70.9 %

第2章 概況

2-1. 全体の動き



令和3年度第Ⅲ四半期（10月～12月）の業況は、前年同月比で「好転企業」27.7%「悪化企業」27.7%となり、「好転企業」から「悪化企業」を差し引いたD.I.値は0.0、前期と比較して9.8ポイント改善しました。

業種別で見た業況は建設業が8.1ポイント改善し4.0、製造業は23.5ポイント改善し35.3、卸売業38.5ポイント改善し0.0、小売業8.3ポイント悪化し▲25.0、サービス業8.8ポイント改善し0.0と小売業以外で好転傾向を示し、特に卸売業は大きく改善しました。

次期（1月～3月）の業況判断D.I.値は、今期と比べ26.8ポイント悪化し、▲26.8を予想しております。業種別では建設業32.0ポイント悪化し▲28.0、製造業53.0ポイント悪化し▲17.7、卸売業は変化なく0.0、小売業21.4ポイント悪化し▲46.4、サービス業24.1ポイント悪化し▲24.1、第Ⅲ四半期との比較で悪化しているところが多く、見通しが立たない状況になっています。

今期の課題として「人手不足」「売上の不振」「諸経費増」を問題にしている企業が増えています。また、今期の特徴として「同業者間の競合」「受取手形不渡」が減少傾向にあります。

全体としては、今期、R1第Ⅱ四半期から続いたマイナス水準を脱したものの、依然としてコロナ禍の先行きが見えないことから予断を許さない状況にあります。

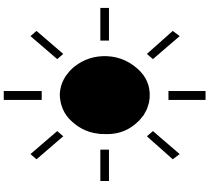
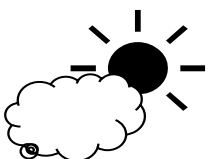
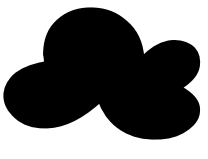
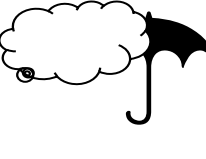
このような中、今後も全業種において経営改善に向けた対応や対策が強く求められています。

2-2. 業種別の動き

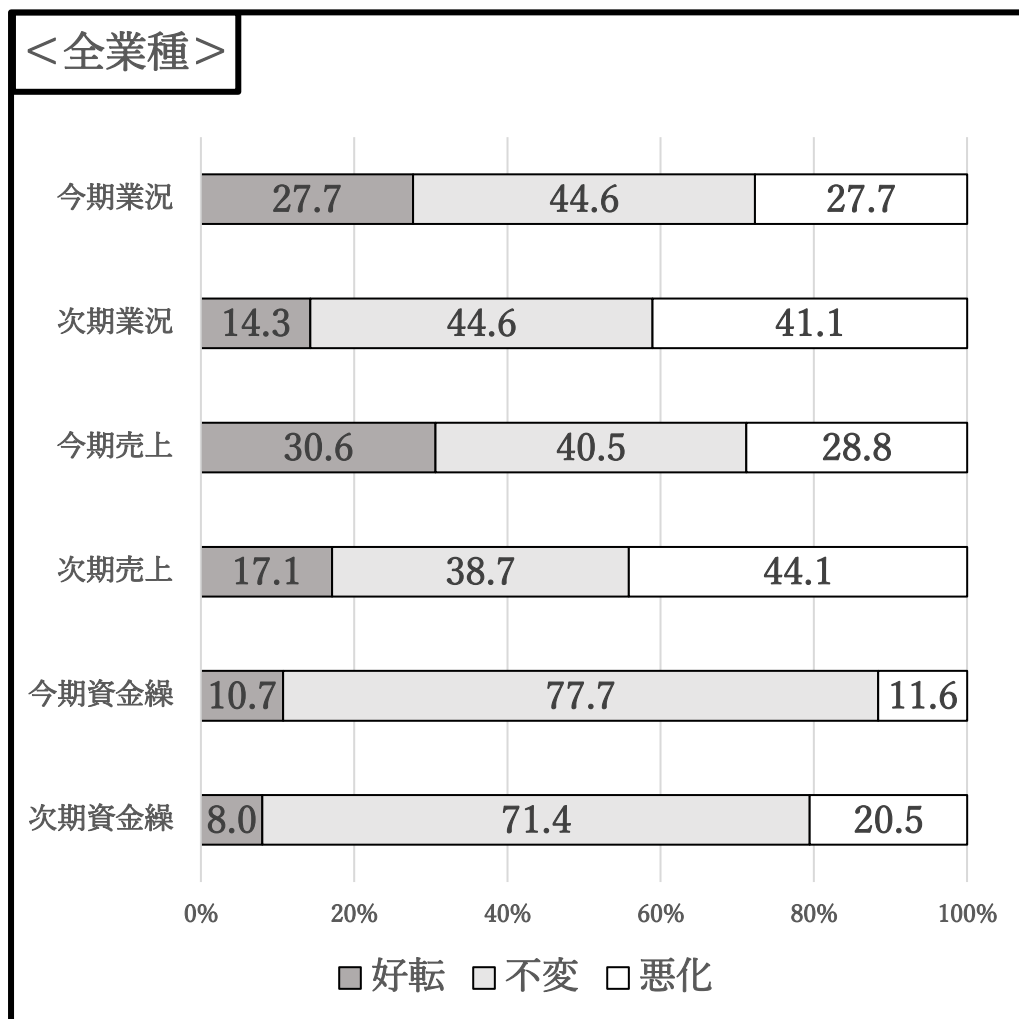
	規模/項目	売上高（完成工事高）			採算			次期（D.I値）		
		増 加	減 少	DI値	増 加	減 少	DI値	業 況	売 上	資金繰
建設業	小 規 模	8.3	33.3	▲ 25.0	0.0	41.7	▲ 41.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 16.7
	非小規模	50.0	8.3	41.7	53.8	15.4	38.5	▲ 30.8	▲ 25.0	▲ 7.7
	全 体	29.2	20.8	8.3	28.0	28.0	0.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 12.0
製造業	小 規 模	33.3	11.1	22.2	22.2	22.2	0.0	▲ 55.6	▲ 55.6	▲ 11.1
	非小規模	37.5	12.5	25.0	62.5	12.5	50.0	25.0	12.5	12.5
	全 体	35.3	11.8	23.5	41.2	17.6	23.5	▲ 17.6	▲ 23.5	0.0
卸売業	小 規 模	40.0	40.0	0.0	40.0	40.0	0.0	40.0	40.0	▲ 20.0
	非小規模	25.0	37.5	▲ 12.5	0.0	50.0	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 50.0	▲ 25.0
	全 体	30.8	38.5	▲ 7.7	15.4	46.2	▲ 30.8	0.0	▲ 15.4	▲ 23.1
小売業	小 規 模	13.3	33.3	▲ 20.0	6.7	20.0	▲ 13.3	▲ 33.3	▲ 26.7	▲ 6.7
	非小規模	46.2	38.5	7.7	15.4	46.2	▲ 30.8	▲ 61.5	▲ 38.5	▲ 23.1
	全 体	28.6	35.7	▲ 7.1	10.7	32.1	▲ 21.4	▲ 46.4	▲ 32.1	▲ 14.3
サービス業	小 規 模	16.7	50.0	▲ 33.3	25.0	41.7	▲ 16.7	▲ 41.7	▲ 50.0	▲ 25.0
	非小規模	41.2	23.5	17.6	29.4	17.6	11.8	▲ 11.8	▲ 17.6	▲ 5.9
	全 体	31.0	34.5	▲ 3.4	27.6	27.6	0.0	▲ 24.1	▲ 31.0	▲ 13.8

第3章 各判断項目回答割合と天気図

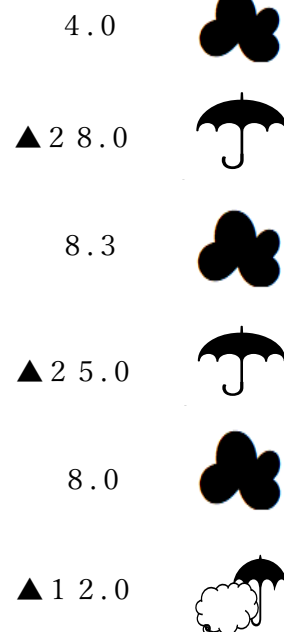
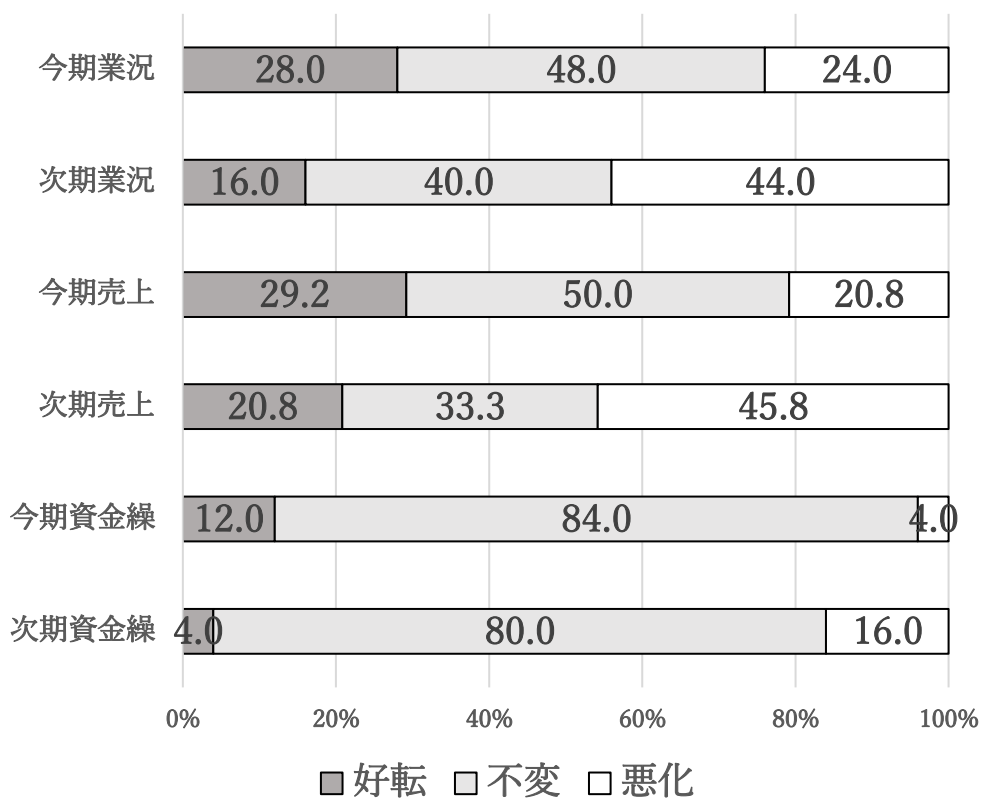
3-1.記号説明

				
とくに好調 (D.I. ≥ 50)	好 調 (50 > D.I. ≥ 25)	まあまあ (25 > D.I. ≥ 0)	不 振 (0 > D.I. ≥ ▲25)	きわめて不振 (▲25 > D.I.)

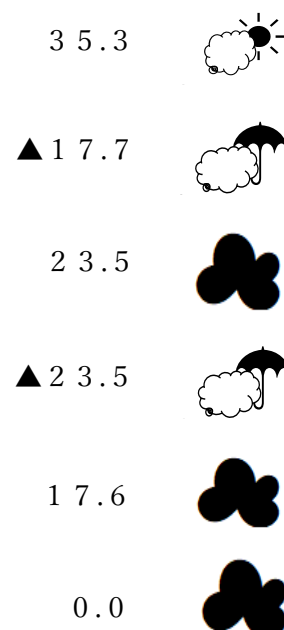
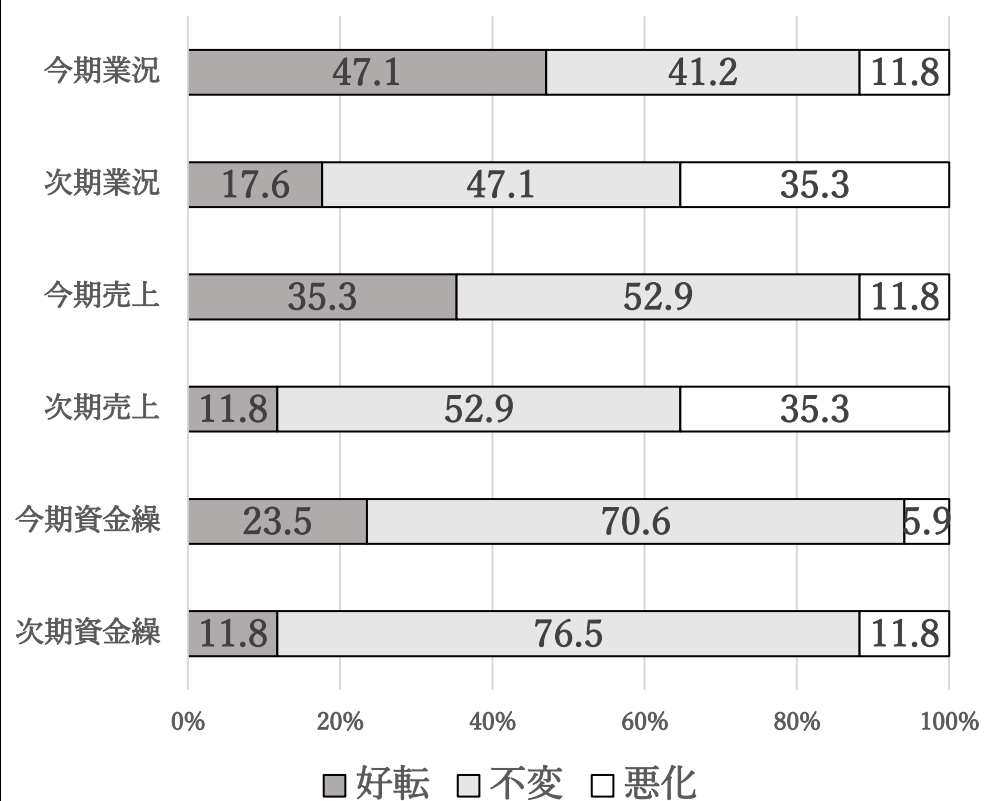
3-2. 各業種の動向



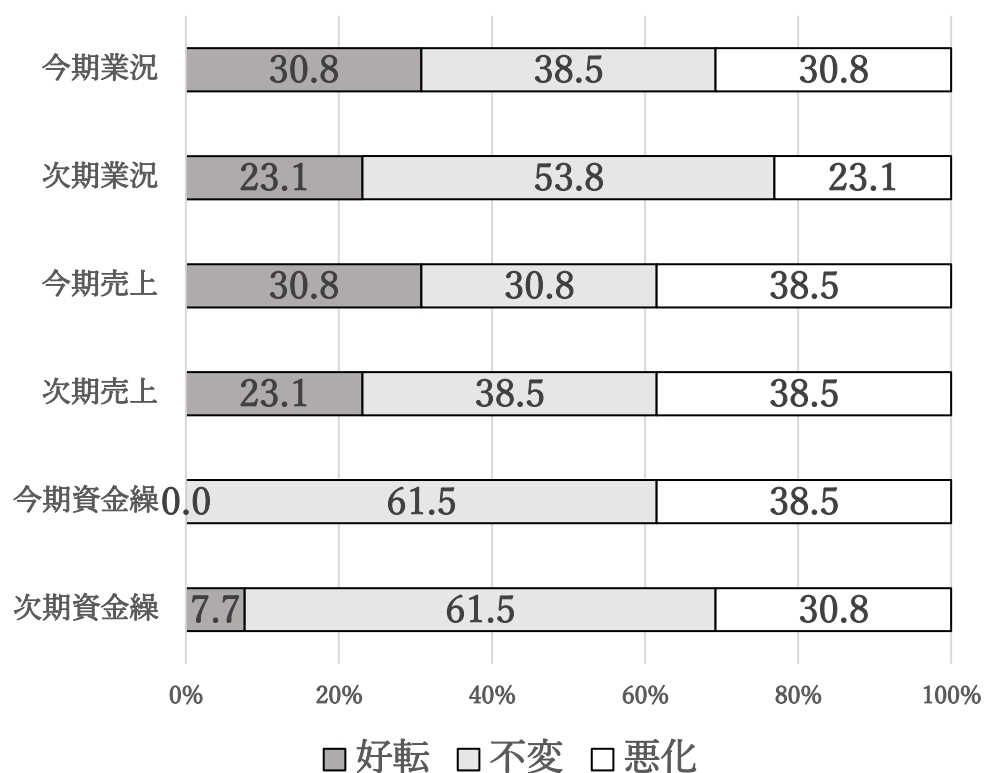
<建設業>



<製造業>



<卸売業>



0.0



0.0



▲ 8.5



▲ 1 5.4



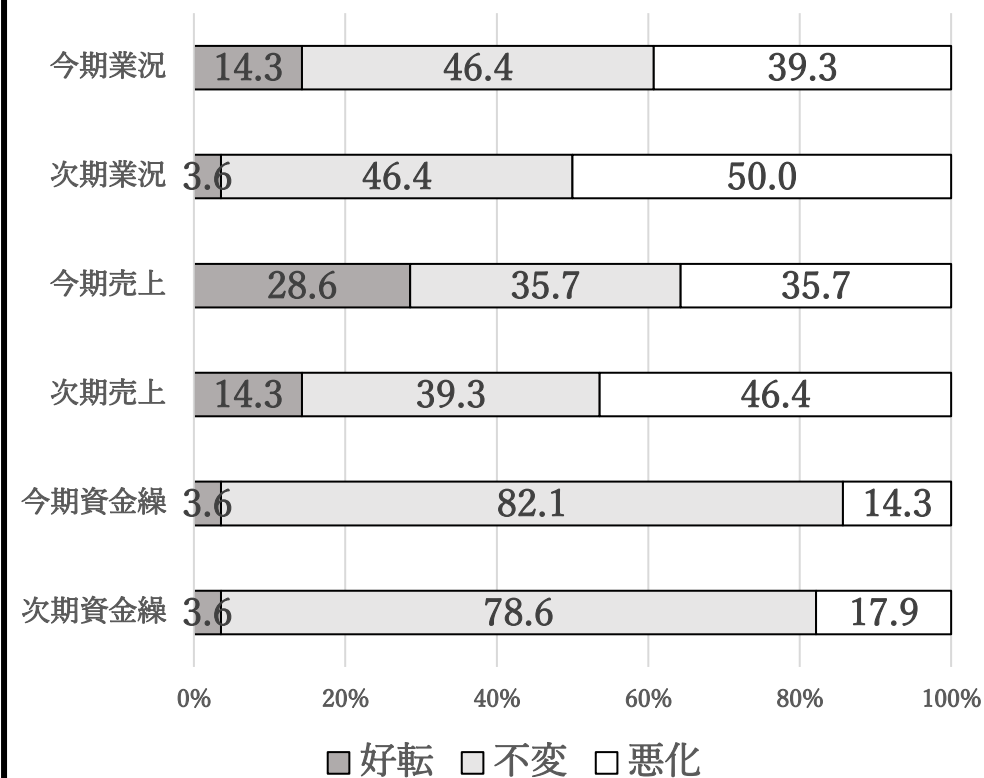
▲ 3 8.5



▲ 2 3.1



<小売業>



▲ 2 5.0



▲ 4 6.4



▲ 7.1



▲ 3 2.1

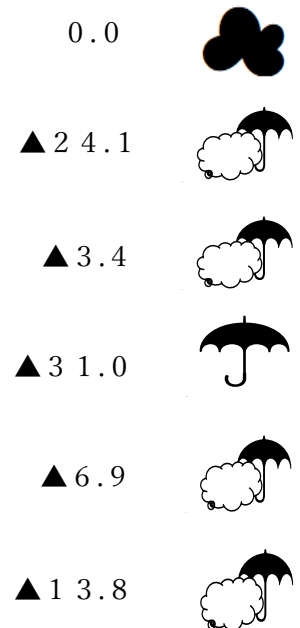
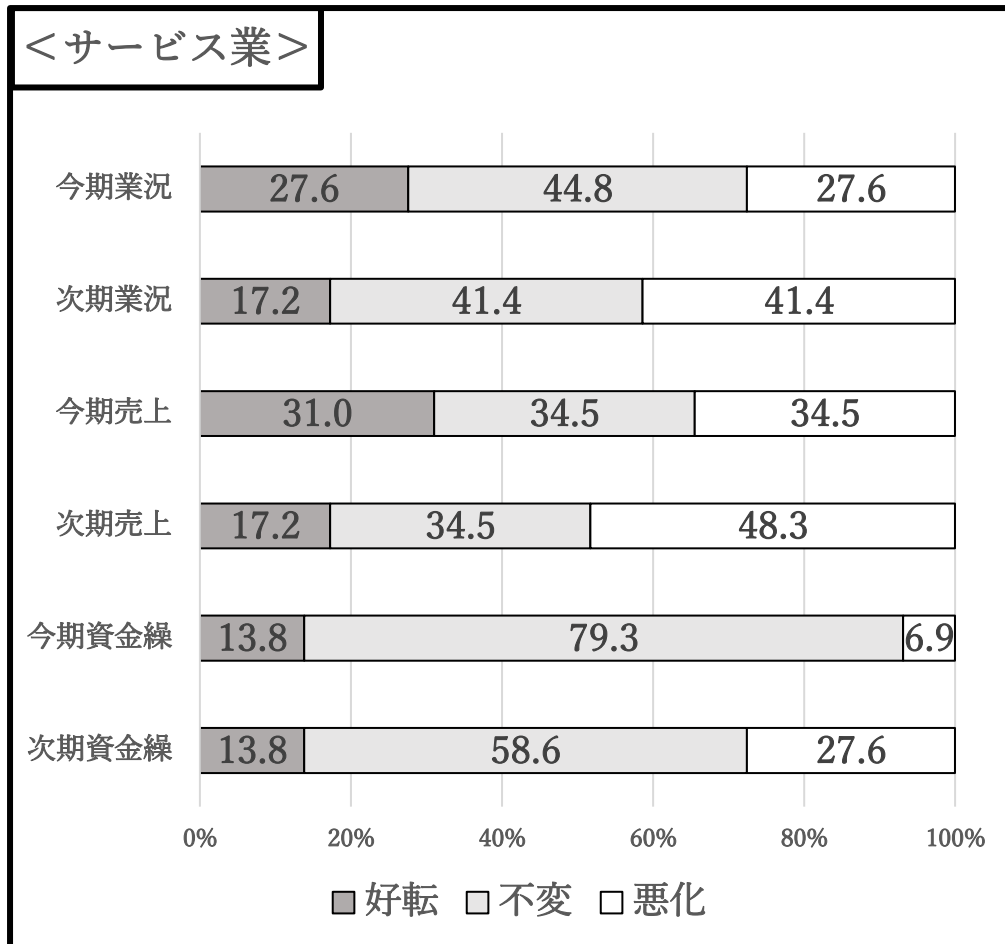


▲ 1 0.7

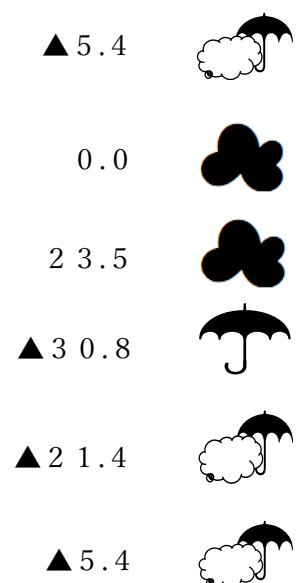
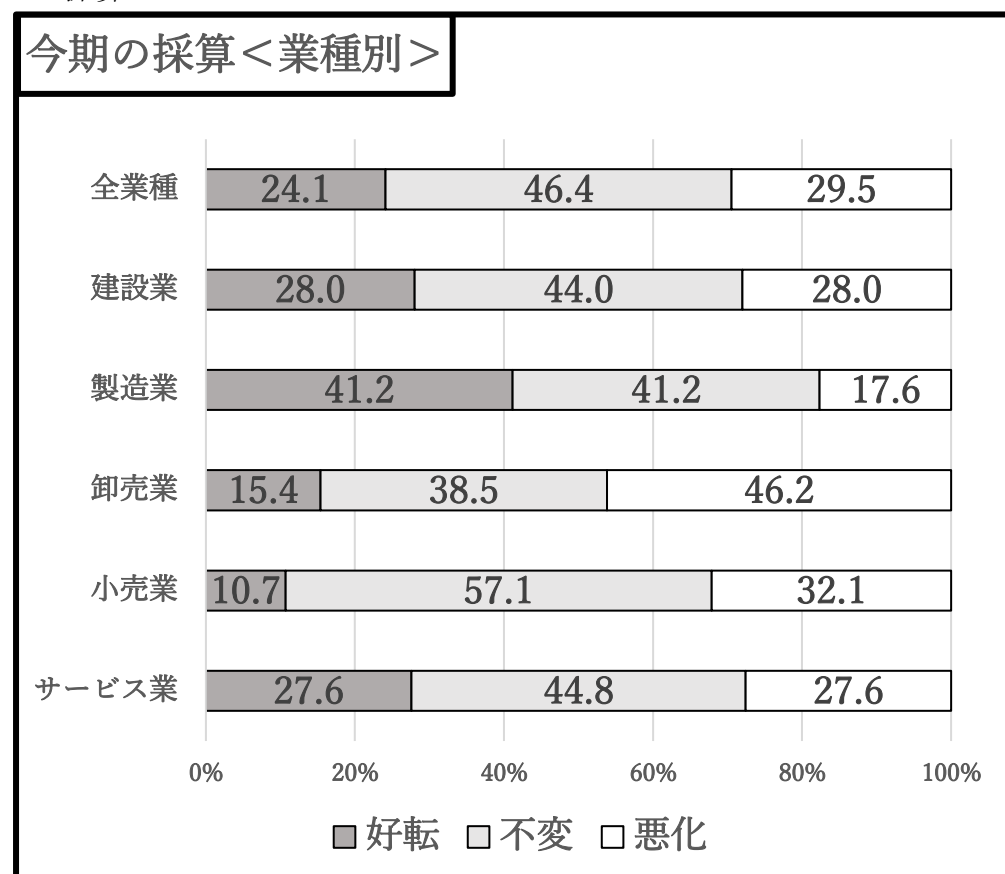


▲ 1 4.3





3-3. 採算

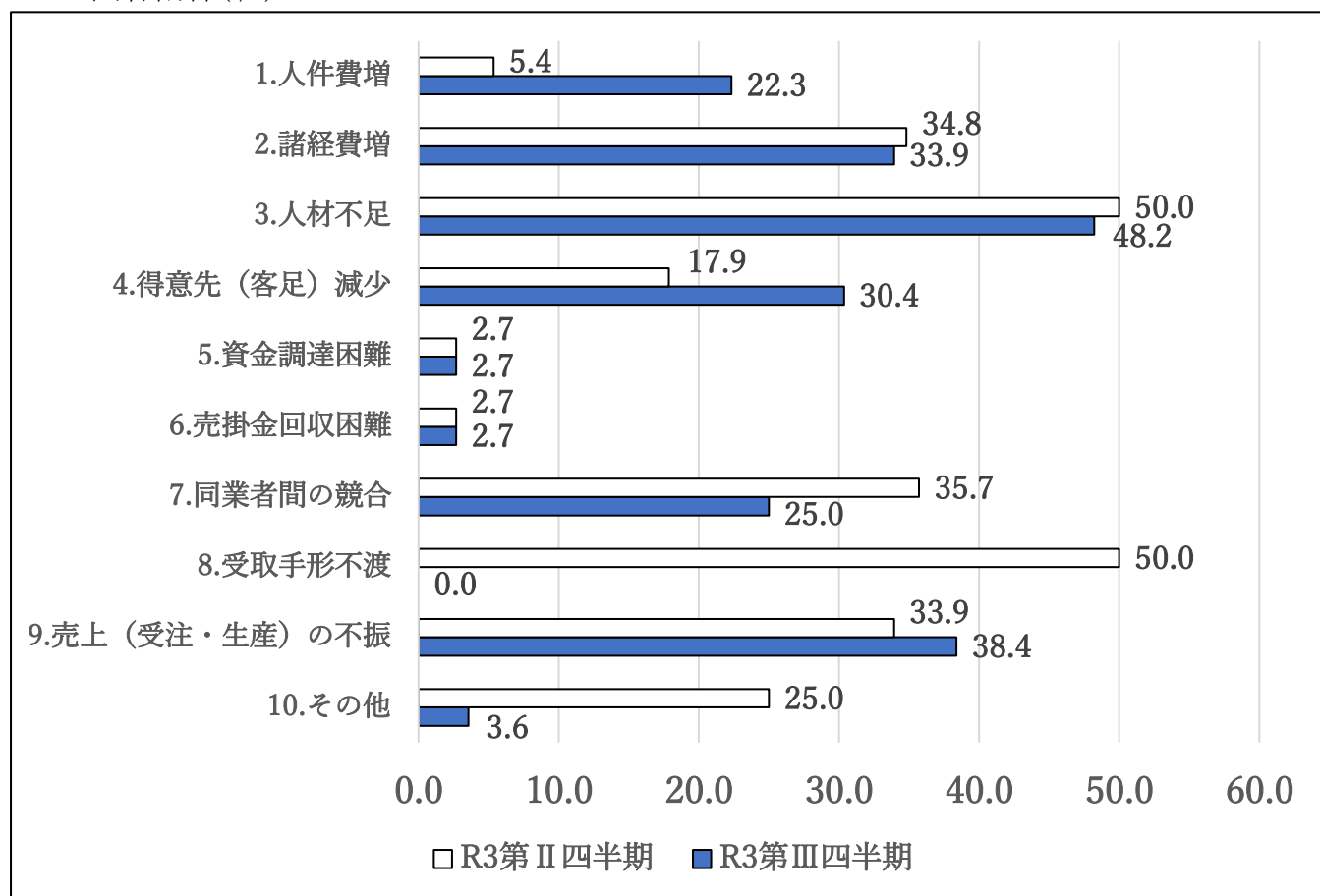


第4章 産業別経営上の問題点

4-1. 回答実数

業 種	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
建設業	人材不足	諸経費増 売上の不振	同業者間の競合	人件費増	得意先減少
製造業	人材不足	諸経費増	人件費増 売上の不振	得意先減少	同業者間の競合
卸売業	諸経費増 売上の不振	人材不足	得意先減少 同業者間の競合	人件費増	資金調達困難 売掛金回収困難
小売業	得意先減少 売上の不振	同業者間の競合	諸経費増	人材不足	人件費増
サービス業	人材不足	得意先減少	人件費増 売上の不振	諸経費増	同業者間の競合
全業種	人材不足	売上の不振	諸経費増	得意先減少	同業者間の競合

4-2. 回答割合(%)



注：複数回答あり

第5章 産業別設備投資の状況

今期の設備投資の有無と設備内容について調査し、業種別に統計しました。
設備投資の有無は表1のとおり、設備内容は表2です。

表1 業種別件設備投資の動向

設備投資状況	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
した	7件 28.0	6件 35.3	1件 7.7	4件 14.3	11件 37.9	29件 25.9
していない	18件 72.0	11件 64.7	12件 92.3	24件 85.7	18件 62.1	83件 74.1
無回答	0件 0.0	0件 0.0	0件 0.0	0件 0.0	0件 0.0	0件 0.0
合計	25件 100.0	17件 100.0	13件 100.0	28件 100.0	29件 100.0	112件 100.0

※右側の数字はパーセンテージを表している。

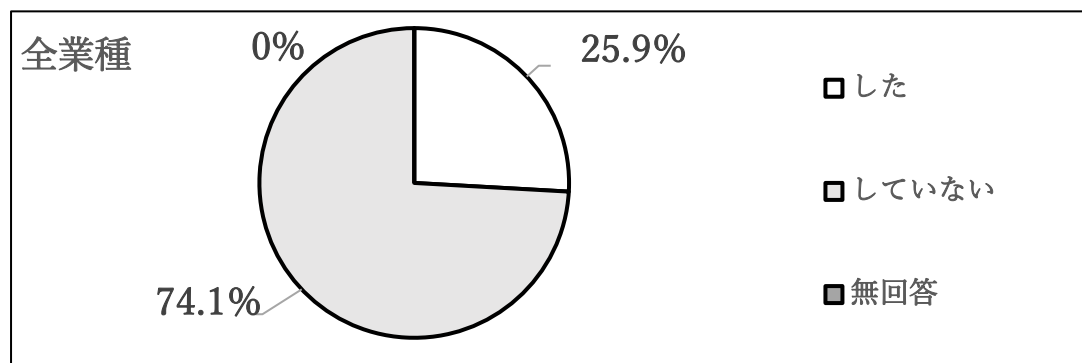


表2 業種別設備投資の内容

設備投資内容	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計
土地	1件	0件	0件	1件	1件	3件
店舗	0件	0件	0件	0件	2件	2件
販売設備	0件	1件	0件	0件	1件	2件
車両運搬具	4件	2件	1件	2件	2件	11件
付帯設備	2件	4件	0件	1件	3件	10件
OA機器	1件	1件	1件	1件	2件	6件
福利厚生施設	0件	0件	0件	0件	0件	0件
その他	1件	0件	0件	1件	1件	3件
合計	9件	8件	2件	6件	12件	37件

※複数回答があるため、表1の合計件数と相違している。

※その他の記述内容(3件記述あり)

【建設業】

・測量機器

【小売業】

・もちつき機

【サービス業】

・客室改装工事

第6章 業界の景気動向等その他のご意見

◎業界の問題点について

【建設業】

- ・人が集まりません！
- ・公共工事の発注が少なくなっている。4月以降の次年度工事量が減ってしまうのか心配である。

【製造業】

- ・人材不足は現状も厳しい状況である。派遣社員に頼っている現状である。
- ・コロナによる観光地及びイベントの中止による減少。
- ・コロナの再拡大により先が見通せない、在庫をどの程度抱えて良いのか難しい。

【卸売業】

- ・コロナ禍の中、経費削減に取り組む得意先で地元周辺以外のその他道内・道外からの商品仕入を安価で行い、業者が増え、価格競争がコロナ前より激しく利益確保が難しい状況。
- ・肥料の原材料が中国輸入に頼っている部分があるため、肥料原料が不足のため、供給出来ない商社があり、大変。この他、家畜エサの輸入も減少と高値で酪農は大変な状況になっている。国内での製造などを進める政策と受給体制の確保は、道と国の大きな問題。現場で何が出来るか連携が必要と思う。

【小売業】

- ・新車の納期遅れ。中古車価格の高騰。価格の値上げ（部品、油脂類ほか）。
- ・コロナの影響により、新車納入期限の遅延、中古車仕入価格の高騰により車輛販売が今後厳しくなるかもしれません。
- ・新車を入荷発注してもしばらく入荷しない。

【サービス業】

- ・コロナによる、緊急事態宣言などで休館や移動制限により、観光客の減少、外国人訪日観光客の減少。安心して観光が出来るようになるまで好転は難しいと思う。
- ・新型コロナウイルス及びオミクロン株の市中感染者数増加により、今後の受注に影響が出始めており、今後の業績低下がそれに伴って GOTO トラベルの延期も予想され、ますます不安感が広がっている状況です。2月の流水観光に期待しておりますが予断を許さない所もあり、第6波が全国的に広がってしまうことが心配材料としてあります。
- ・食材の高騰が続いているので地元の食材を使って行くことが困難な状況である。
- ・無資格無許可業者の横行。
- ・コロナの収束を願うばかりです。
- ・人材（技術者）の確保、人材育成の強化。デジタル化の推進及び多様化する新技術に対応するための設備投資額の増加。
- ・人手不足が深刻です。休業を余儀なくされた店舗もある。11月、12月と客足が戻りつつあったが、オミクロン株による感染拡大で客足、売上共に激減、まん延防止適用が流水観光期に当たる事も飲食業界全体にも大きなダメージになることが予想される。3月、4月期に向けた回復策が必要。まん延防止も第三者認証と外との差別化が明確に示されておらず混乱を引き起こしている。